

東京都商品等安全対策協議会における論点

論点 1

規制の実施方法

法に基づく規制か？
消費生活用製品安全法
による規制 or 個別法に
よる規制
業界の自主規制か？

国内のライターについて同時に規制を行うためには、法に基づく規制が必要である。どのように規制を行うかを検討する。

論点 2

対象とする子供の年齢

欧米と同様の年齢 5 1 ヶ
月（4 歳 3 ヶ月）未満で
よいか？
高齢者や障害者への配慮
も必要ではないか。

火遊びによる火災の
行為者の年齢を分析
することなどにより
対象の年齢を絞る。
その際、高齢者や障
害者への配慮という
観点から年齢を上げ
すぎないように考慮
する必要がある。

論点 3

ライターの範囲

価格で線引きをするか？
線引きをする場合はい
くらにするのか？
ノベルティーライターを
どのように扱うか？

ライターの流通状
況、火災事故の発火
源となっているライ
ターの傾向を把握す
ることなどにより検
討する。

論点 4

実効性の担保

試験方法をどのようにす
るか？
実施に当たっての問題
点は。
輸入品への対策は。

欧米での実際の試験
の実施状況について
調査を行い、試験方
法を検討する参考と
する。法に基づく規
制が行われれば、輸
入品対策はクリアに
なる。